



船引小学校だより



【教育目標】
思いやりのある子ども
よく考えてしっかり学ぶ子ども
進んでからだをきたえる子ども

平成30年9月25日
田村市立船引小学校
発行責任者
校長 有賀 仁一

“学校の顔”が大活躍！



第14回市陸上競技大会

～4×100Mリレー、全クラス・男女ともに決勝進出の快挙！

男子は「船引小2組」が「優勝」！～

12日（水）田村市陸上競技場で第14回田村市小学校陸上競技大会が開催されました。絶好の陸上日和の中、市内13の小学校と川内小の6年生約300人が参加しての大会となりました。

今年は、猛暑で市小学校水泳大会が中止となったため、6年生全員が選手として参加する大会は、今回が

初めてでした。自分自身のことはもとより、学校（学級）の名誉と誇りをかけて他校の児童と競い合う場の設定は、教育上意義のあることだと考えます。また、陸上の一流選手も競技するすばらしい施設で、走ったり跳んだり投げたりできるということはたいへん幸せなことで、貴重な経験でもあります。一人ひとりが自分の種目に全力で挑みがんばった大会でした。

その中で、4×100Mリレーは、全クラス・男女ともにすべて決勝に進出しました。昨年度に続き、“学校の顔”である6年生全体の快挙であると思います。夏休みから学年全体で練習に取り組んだ成果であり、「今年の船引小学校をいい学校にしよう！」という呼びかけに応えてくれた1つの結果だと感謝しています。

もちろん、男子リレーの優勝（船引小2組）・準優勝（船引小3組）、個人種目5名の優勝者をはじめ、数多くの入賞者は大きな称賛に値するものです。おめでとう！そして、ありがとう！

特設部も各種大会で大活躍！

～男子リレー「県6位」合唱「優秀賞」合奏「優良賞」～

全員一律に行うのではなく、自分のやってみたい活動に挑戦する「特設部」。陸上は、16日（日）県陸協・民報社主催の「県小学生リレーカーニバル」に5・6年生32名がそれぞれの種目に参加しました。その中で、男子リレーは、県内58チーム中6位に入賞しました。あっぱれ！見事な走りでした。



合唱部は、先月29日の県大会に引き続き、1日（土）喜多方プラザで開催されたTBC・TUFこども音楽コンクールに出場し「優秀賞」に、合奏部も翌2日（日）に同じく出場し「優良賞」に輝きました。夏休み等の熱心な練習の成果が存分に表れていました。合奏部は来月4日に県大会があります。今後さらに演奏に磨きをかけていくことを期待しています。

4年生の宿泊学習に同行！

～ 貴重な体験と学びがありました！ ～

6日（木）7日（金）の1泊2日で、4年生119名と福島県郡山自然の家での宿泊学習に同行してきました。アーチェリーやインラインスケート、frisbeeゴルフに挑戦したり、フィールドビンゴやフィールドワークで野山を駆け巡り、動植物等の自然に親しんできました。子どもたちにとって、初めての体験・経験が多く、多少失敗しながらも興味・関心をもって友達と協力し合いながら楽しく充実した活動をしてきました。所内では、きまりを守って整然とした行動ができ、所の先生方からもお褒めの言葉をいただきました。



各種コンクールで“上位入賞”多数！

～ 船引小学校の子どもたち“大活躍”です！ ～

夏休みに取り組んだ理科自由研究で、2年 君の「やさいとくだもの水ぶんをしらべよう」と5年 さんの「カタツムリの成長」が特選の中でも学年トップとなる“県出品”に選ばれました。筋道立てた継続的な取り組みで大きな称賛に値します。

また、地区書写コンクールでは、1年 さんと さん、3年 さん、5年 さん、6年 さんの5人が“最優秀”に輝きました。ふくしまっ子ごはんコンテストでは、6年 さんの「おじいちゃんおばあちゃんの畑で採れた食材を使った夏バテ予防ご飯！」が県の最終審査会出場を決めました。この他にもたくさんあるのですが、すべてを紹介できず申し訳ありません。船引小学校の子どもたち“大活躍”がんばっています！

交通事故防止「自分の命は自分で守る！」

～ ご家庭でも繰り返し声をかけてあげてください！ ～

今月に入って立て続けに、本校児童が巻き込まれる交通事故が発生しました。1つ間違えば命にかかわる交通事故。1件は鎖骨を折る重傷事故でした。

学校では、まず「自分の命は自分で守る」を合言葉に自己防衛・安全意識の高揚と具体的な交通マナーやルールの指導に努めています。今週は、田村自動車学校や田村警察署にもお世話になって、全学年でその学年に応じた内容での交通教室を開催します。

ご家庭でもぜひ毎朝、「行ってらっしゃい。気をつけて！」の一言をかけていただければ幸いです。よろしくお願いします。



新たな教員が配置されました！

～ 来月からは“支援員”も追加配置されます！ ～

ついに今月1日から、定数上未配置となっていた教員1名が県教委から配置されました。

先生です。若い感性とバイタリティーで子どもたちにかかわってくれることを期待しています。年度途中でもあり、当面は、担任の先生方とともにTTや個別対応の指導に当たっていただきます。どうぞよろしくお願いします。

また、来月からは“支援員”も追加配置されます。詳しくは着任後にお知らせしますが、これらによって子どもたちの教育活動がさらに充実することと、校長の達成目標に掲げている“教職員の多忙化解消”が少しでも実現できればと期待しているところです。